

名 松 線 の あ ゆ み

年	出来事	駅の開業	営業距離
昭和 4 年 8 月 25 日	松阪～権現前間 4.4M≒7.08 kmが開業	権現前駅	7.08 km
昭和 5 年(1930)	参宮急行電鉄(現近鉄)が名張・松阪間開通		
昭和 5 年 3 月 30 日	権現前～井関間 5.3M≒8.52 kmが延伸開業	伊勢八太駅、井関駅	15.6 km
昭和 6 年 9 月 11 日	井関～家城間 10.2 kmが延伸開業	伊勢川口駅、家城駅	25.8 km
昭和 10 年 12 月 5 日	家城～伊勢奥津間 17.7 kmが延伸開業	伊勢竹原駅、伊勢鎌倉駅、伊勢八知駅、比津駅、伊勢奥津駅	43.5 km
昭和 13 年 1 月 20 日		伊勢田尻駅、伊勢大井駅、関ノ宮駅	
昭和 34 年 9 月 26 日	伊勢湾台風により伊勢竹原～伊勢奥津間が不通		
昭和 34 年 11 月 23 日	全線復旧、運行再開		
昭和 35 年 8 月 1 日		上ノ庄駅	
昭和 40 年 9 月 30 日	30年間親しまれたSLが姿を消す		
昭和 43 年 10 月 1 日	伊勢田尻駅を 0.3 km松阪方面に移転し一志駅に改称	伊勢田尻駅を一志駅に	
昭和 50 年 8 月 8 日	名松線を守る会結成		
昭和 57 年 8 月 1 日	台風10号による土砂災害などで全線不通		
昭和 58 年 2 月 13 日	名松線存続駅伝始まる		
昭和 58 年 6 月 1 日	全線復旧、運行再開		
昭和 59 年 2 月 1 日	全線で荷物の取扱いを廃止		
昭和 59 年 6 月 22 日	運輸大臣が廃止承認を保留		
昭和 60 年 8 月 2 日	代替道路未整備を理由に廃止対象から除外 ※同年ノーベル物理学者ファインマン奥津へ		
昭和 62 年 4 月 1 日	国鉄分割民営化によりJR東海が承継		
平成元年 2 月 20 日	ワンマン運転開始		
平成 16 年 9 月 24 日	台風21号による土砂災害で全線不通		
平成 16 年 3 月	伊勢奥津駅新駅舎・八幡出張所建築建設開始		
平成 16 年 10 月 4 日	全線復旧、運行再開		
平成 17 年 2 月	新駅舎完成、八幡出張所開設		
平成 21 年 10 月 8 日	台風18号による豪雨により土砂崩れや路盤流出が生じ全線運休。バス代行を開始		
平成 21 年 10 月 15 日	松阪～家城間で運転開始。バス代行区間は家城～伊勢奥津間に変更		
平成 21 年 10 月 29 日	JR東海はバス代行区間の家城～伊勢奥津間をバス輸送に切り替えると提案		
平成 21 年 10 月 30 日	美杉自治会連合会はJR東海社長に早期復旧を求める要望書を提出		
平成 21 年 12 月 6 日	早期復旧を求める署名活動開始		
平成 21 年 12 月 19 日	「名松線の全線復旧を求める会」設立		
平成 22 年 1 月 26 日	国土交通大臣とJR東海社長へ署名(116, 268人)と要望書を提出		
平成 22 年 3 月 17 日	津市長、津市議会議長に要望書を提出		
平成 22 年 3 月 26 日	知事、県議会議長に要望書を提出		
平成 22 年 9 月 9 日	名松線の全線復旧を求める会の会員募集を開始		
平成 22 年 12 月 11 日	名松線開通75周年記念イベント開催		
平成 23 年 5 月 20 日	三重県、津市、東海旅客鉄道株による鉄道運行再開についての協定書締結(2011)		
平成 23 年 1 月 23 日	看板「みんなで守ろう名松線」設置		
平成 23 年 3 月 1 日	「名松線の全線復旧を求める会」の名称を「名松線を守る会」に変更		
平成 26 年 4 月 1 日	伊勢奥津駅前観光案内交流施設「ひだまり」開設		
平成 28 年 3 月 26 日	全線復旧、運行再開		
令和 3 年 4 月 19 日	市へ給水塔について国有形登録文化財登録を求める要望書提出		
令和 4 年 12 月 19 日	文化庁係官現地調査		
令和 6 年 1 月 24 日	市教委から文化庁へ意見具申を提出		
令和 6 年 7 月 19 日	文化審議会、登録有形文化財「旧国鉄伊勢奥津駅給水塔」登録を答申		
令和 6 年 12 月 3 日	「旧国鉄伊勢奥津駅給水塔」登録有形文化財登録の告示		